

Product Information Silicone Sealant



DOW CORNING TORAY SE 5010 シーラント

特徴と長所

- ・混合作業が不要な1成分形であり、作業性に優れています。
- ・硬化物は柔軟なゴムです。
- ・オキシム型ノンサグタイプのシーリング材で、様々な部材に使用できます。
- ・防かび剤入り
- ・各種金属（銅系／真ちゅうを除く）、ガラス、タイル、陶磁器等広範囲の基材に対して優れた接着性を示します。
- ・有機系シーリング材に比べて、耐久性、耐UV性、耐熱性、耐候性、防水性に優れています。
- ・幅広い温度領域(-40 ~ 150°C)で柔軟性を保ちます。
- ・有機系シーラントに比べて耐久性が高く、交換頻度を減らすことができるので、低コスト・サステイナビリティに寄与します。
- ・高温・多湿の場所でも、カビが生えにくいシーラントです。

組成

- ・1成分形
- ・オキシム型
- ・室温硬化型シーラント

1成分形オキシム型シリコーンシーラント

JIS A 5758 G-20LM, G-30SLM (SR-1-9030G) 適合品

用途

浴室、洗面化粧台、汎用シーラント・洗濯槽、キッチンキャビネット、流し台などの目地部のシールおよび補修をはじめ、各種シール・充填用途に幅広くご使用いただけます。

特性

ここに報告されたデーター(試験結果)は、個々の試験条件、測定方法により提供されるものです。このデーターは、試験されたバッチのみを示すものであり、規格として設定し、使用されるべきではありません。製品の性能が貴社の要求を満たしていることを確認するための試験は、貴社の使用条件の下で行なって下さい。

試験方法*	試験項目	単位	測定値
JISA1439	タックフリー	min	6
JISK6249	密度	g/cm ³	1.03
JISK6249	硬さ (JIS タイプ A)		18
JISK6249	引張り強さ	MPa	1.8
JISK6249	伸び	%	550

*JIS: 日本工業規格。

製品概要

DOW CORNING TORAY SE 5010 シーラントは、防かび剤入り1成分形オキシム型のシリコーンシーリング材です。1成分形のため容易に充填でき室温で硬化します。非流動タイプのシーラントで、空気中の水分で硬化し、シリコーンゴムになります。

ご使用方法

ご使用方法は、シーリング材ハンドブック、JASS8防水工事および「外壁接合部の水密設計および施工に関する技術指針」に準拠してご使用ください。

防カビ性(JIS Z2911 カビ抵抗性試験)

使用した菌

- | | |
|---|------------|
| 1. 第1群の(1) Aspergillus niger | NBRC6341 |
| 2. 第2群の(1) Penicillium citrinum | NBRC6352 |
| 3. 第3群の(1) Rhizopus oryzae | NBRC 31005 |
| 4. 第4群の(1) Cladosporium cladosporioides | NBRC 6348 |
| 5. 第5群の(1) Chaetomium globosum | NBRC 6347 |

試験条件 : 28 ± 2 °C/97 ± 2% RH/4週間

試験結果 : 表示0 (試料または試験片の接種した部分に菌糸の発育が認められない)

表1: JIS A5758(G-20LM/G-30SLM)にもとづく性能試験結果(使用プライマー: PRIMER-D3(RF))

項目	条件	単位	試験結果 Results		判定基準
スランプ(縦)	5 ± 2°C	mm	0		3 以下
	50 ± 2°C	mm	0		3 以下
スランプ(横)	5 ± 2°C	mm	0		3 以下
	50 ± 2°C	mm	0		3 以下
体積変化	-	%	6		10 以下
60%引張応力	23 ± 2°C	N/mm ²	ガラス	0.3	0.4 以下
		N/mm ²	アルミ	0.3	0.4 以下
	-20 ± 2°C	N/mm ²	ガラス	0.4	0.6 以下
		N/mm ²	アルミ	0.4	0.6 以下
耐久性(9030G)	23 ± 2°C	-	合格		破壊なきこと
定伸長下での接着性	23 ± 2°C	-	ガラス	合格	破壊なきこと
		-	アルミ	合格	破壊なきこと
	-20 ± 2°C	-	ガラス	合格	破壊なきこと
		-	アルミ	合格	破壊なきこと
人工光暴露後の接着性	23 ± 2°C	-	ガラス	合格	破壊なきこと
圧縮加熱・引張冷却後の接着性	23 ± 2°C	-	アルミ	合格	破壊なきこと
水浸漬後の定伸長下での接着性	23 ± 2°C	-	ガラス	合格	破壊なきこと
		-	アルミ	合格	破壊なきこと
弾性復元性(G-20LM/G-30SLM))	23 ± 2°C	%	95/90		60 以上

表2: 引張り接着特性 (JIS A1439 耐久性試験体 {使用プライマー:PRIMER-D3(RF)、引張り速度 50mm/分、温度 20°C})

	条件	50% 引張応力 (N/mm ²)	最大引張応力 (N/mm ²)	最大荷重時の 伸び (%)	破壊時の 伸び (%)
アルミ	標準養生後	0.30	0.65	282	290
	加熱後*1	0.30	0.70	296	297
	水浸漬後*2	0.33	0.67	250	262
	標準養生後	0.31	0.63	260	266
	加熱後*1	0.33	0.61	245	256
	水浸漬後*2	0.32	0.66	257	271
ガラス	促進暴露後*3	0.32	0.60	230	259

*1 標準養生後 + 90 ± 2°C/14 日後

*2 標準養生後 + 23 ± 2°C 水/7 日後

*3 標準養生後 + キセノンウェザーメーター 1300 時間暴露後

図1: 表面硬化性

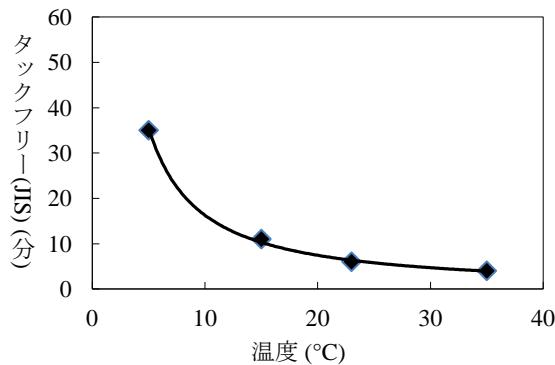


図2: 深部硬化性

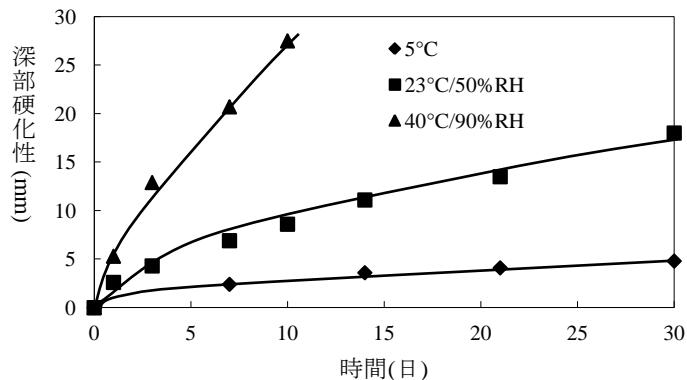
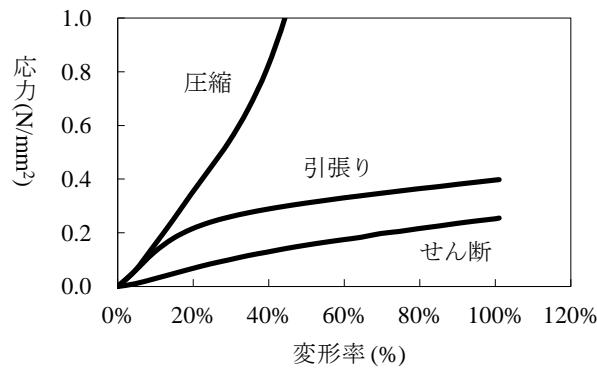


図3: 変形率と応力の関係(JIS A1439 試験片)



目地設計

目地設計は、JASS8（日本建築学会建築工事標準仕様書 防水工事）および「外壁接合部の水密設計および施工に関する技術指針」に準拠して行ってください。

図4. 目地深さの設定

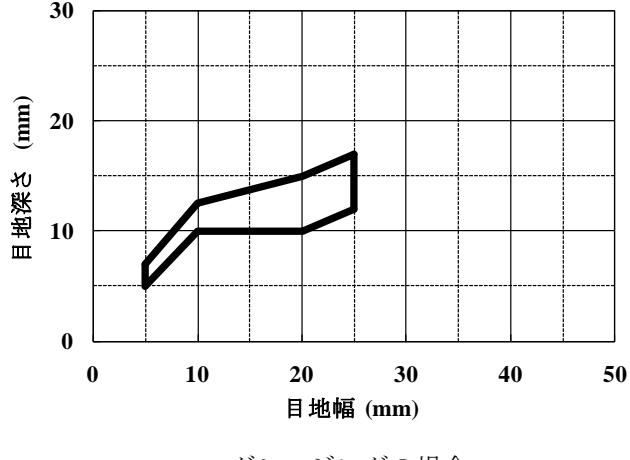
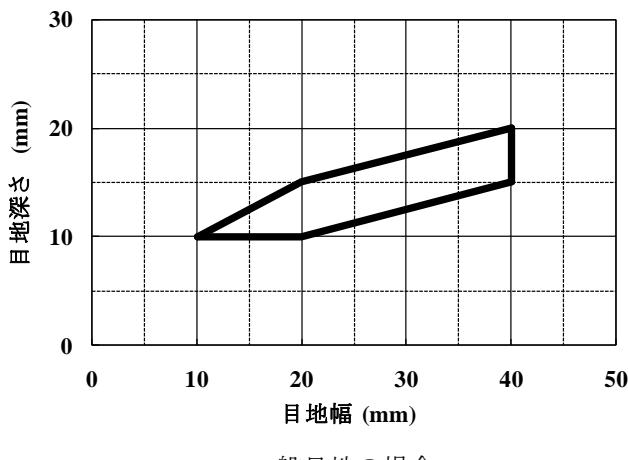


表 3: 汎用接着性

試験方法 : JASS8 簡易接着試験
 使用プライマー : プライマーD3(RF)
 養生条件: 23°C/50%RH×7日

	部材	接着性
ガラス質類	フロートガラス	○
	熱線反射ガラス	○
	高性能熱線反射ガラス	○
	熱線吸収ガラス	○
	ホーロー	○
	陶磁器・タイル	○
金属類	アルミ陽極酸化皮膜	○
	アルミ電解着色	○
	鉄	○
	ステンレス	○
	亜鉛(亜鉛メッキ)	○
塗装類	アクリル塗装	○
	メラミン樹脂塗装	○
	塩ビ塗装	○
プラスチック類	PET	○
	エポキシガラス	○
	ポリスチレン	○
	硬質塩ビ	○
ゴム類	シリコーンゴム	○
	変成シリコーン	○
	ポリサルファイド	×
	ウレタンゴム	○
	EPDM	○
	クロロブレンゴム	○
多孔質類	モルタル・コンクリート	○(プライマーB)
	ALC	○(プライマーB)
	スレート・サイディングボード	○(プライマーB)
木材類	すぎ・ひのき	○(プライマーB)
	ラワン	○(プライマーB)

注意

メーカー、品種などによって、配合、製造方法、表面仕上げが異なるような材質に対しては、必ずしも当てはまらないことがあります。あらかじめ接着試験を行うことを推奨します。

接着信頼性と耐久性を向上させるため、被着体に合ったプライマーを使用することを推奨します。

EPDM、クロロブレン系ガスケットとの取り合いでは、シーリング材の接着不良、変色、軟化が発生することがありますのでご注意ください。

適合規格

- JIS A5758 G-20LM G-30SLM
(SR-1-9030G)
- JSIA F☆☆☆☆

標準色

DOW CORNING TORAY SE 5010
シーラントはクリヤー、ホワイト、
アルミ、グレー、ライトグレー、
アイボリー、ニューアイボリーなど
の色を取り揃えております。

プライマー

確実な接着を実現するためにガラス、金属、多孔質類に関しては、プライマーを必ずご使用ください。また、必ず事前に同じ材料で接着性を確認してください。代表的なプライマーは以下の通りですが、プライマーに関する詳細な情報に関しては、プライマーのカタログを参照ください。プライマーの選定に関してご不明な点は、弊社までお問い合わせください。

- ガラス、金属、金属塗装面
: プライマーD3(RF)
- 木材、モルタル・コンクリート
: プライマーB

使用上の注意事項

- 被着体は清浄かつ乾燥した状態でシーリング材を施工してください。
- 打設してから1日以内に雨掛かりすると表面荒れ、硬化不良の原因となりますので、雨水が掛からないように養生してください。
- 硬化中に目地に大きな動きが加わると、表面のシワや内部クラック等の欠陥を生じることがあります。
- 石目地、スレート目地等の外壁目地に使用した場合、目地周辺に汚染を生じることがあります。美観を重視される場

合は事前に弊社にご相談ください。

- エアーガン使用の場合は、0.3MPa以下でご使用ください。高圧で使用するとシーリング材が突出したり、カートリッジが破裂する危険があります。
- バックアップ材・防水シート等にEPT(EPDM)、クロロブレン系ゴムを使用される場合には、接触によりシーリング材が変質(接着不良、変色、軟化)することがあります。事前確認を推奨します。
- 本製品の硬化時に発生するオキシムは銅系(銅／真ちゅう)金属と反応し腐食を引き起こす場合がありますので、銅系金属には使用しないで下さい。
- 本製品の硬化時に発生するオキシムはアクリル樹脂、ポリカーボネート樹脂等の耐溶剤性の低い樹脂にクラックを発生させることがありますので、これらの樹脂に対しては使用しないで下さい。
- 未硬化、硬化途上の本シーリング材にアルコール型シーリング材を打ち継ぐと変色する可能性がありますのでご注意ください。また、反対に、未硬化、硬化途上のアルコール型シーリング材に本シーリング材を打ち継ぐ場合も変色する可能性がありますのでご注意下さい。
- 直接火の当たる部分には使用しないで下さい。不燃材ではありませんので、不燃性が要求される部位には使用しないで下さい。
- 高温に連続してさらされる用途には適しておりません。
(上限目安: 150°C)
- 防カビ剤を含むので、水槽には使用しないで下さい。
- プライマーは引火性溶剤(消防法危険物第4類)を多量に

含んでいます。火気には十分ご注意下さい。

使用に際し必要な安全情報は本データシートには記載されていません。ご使用の前に、製品安全データシート(MSDS)及び、パッケージ又はパッケージのラベルに表示されている注意書きをよく読んで、使用上の安全をはかって下さい。製品安全データシート(MSDS)はウェブサイト、dowcorning.co.jpにアクセスしてお求めいただけます。さらに、代理店または担当営業にご依頼いただいても結構です。

保証期間

DOW CORNING TORAY SE 5010
シーラントは直射日光を避け乾燥状態で室温(5~25°C)で保管してください。高温下で保管すると変色する可能性があります。製造年月日から12ヶ月間使用可能です。製造年月日は、カートリッジに表示してあります。

包装単位

DOW CORNING TORAY SE 5010
シーラントは、330mlプラスチックカートリッジにて提供させて頂きます。

医療・医薬品用途への制限

本製品は、(ヘルスケア用途製品を除き、)一般工業用途向けに開発・製造されたものです。弊社製品は、医療または医薬用途向けに適合するものとして、試験されておりません。また、そのように表明されるものではありません。

健康および環境に関する情報

- 換気の不十分な場所では、目を刺激したり、吸い込みによる障害の起こる恐れがあります。十分に換気された場所で

- ご使用下さい。未硬化のシリング材が皮膚に付着した場合は、直ちに拭き取り、水、石鹼で十分洗って下さい。
- 目にに入った場合は、直ちに流水で洗い流して下さい。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けて下さい。眼の刺激が続く場合は医師の診断を受けて下さい。
- 本製品は、硬化中にメチルエチルケトオキシム(MEKO)を発生します。 MEKO を長期間、大量に吸入させる動物実験では一部に障害が見られます。長時間大量に吸入すると健康を害する恐れがありますので、ご使用時には十分な換気を行って下さい。

弊社は、お客様の製品安全の必要性をサポートするために、広範囲におよぶプロダクト・スチュワードシップの組織やチームおよび各地域にて対応可能な製品安全並びに法令遵守のスペシャリストを有しております。

さらなる詳細な情報については、弊社のウェブサイト dowcorning.co.jp、または弊社の担当営業までご連絡下さい。

限定保証について—よくお読みください

ここに掲載する情報(以下「本情報」という)は、弊社が誠意をもって提供するものであり、正確であると確信するものです。但し、弊社製品についての使用条件や使用方法は、弊社のコントロールの及ばぬところでございますので、本情報を弊社製品が、お客様の意図する最終用途において、安全で、有効で、十分に満足するものであることを保証するためのお客様における試験の代わりとしては、使用し

ないで下さい。ここでご紹介する使用方法、用途などは、いかなる特許をも侵害していないことを保証するものではありません。

弊社は、弊社製品が出荷の時点で有効な販売規格に適合していることのみを保証致します。この保証に違反した場合、お客様の唯一の救済方法は、当該製品の購入代金の返金または当該製品の交換のみにより対応いたします。

弊社は、製品の特定目的への適合性または商品適格性について、明示または黙示の保証をするものではありません。また、弊社は、いかなる付随的または派生的な損害について何ら責任を負いません。

ご注意

弊社の都合により本資料の内容を変更することがあります。また、新製品、用途の開発によりカタログの改版を行なう場合がありますので隨時ご請求ください。

東レ・ダウコーニング株式会社
ビジネスセンター
0120-77-6278

We help you invent the future.™

dowcorning.co.jp

